イチのプ

松本大作 さん (牛深町・49歳)

今月の

## 豊かな海を 次世代へつなぐために

牛深町の牛深漁港 (須口) を拠点に、妻ととも に漁業を営んでいる。15歳でおじが営む漁船の乗 組員となり、漁業の道へ。その後、結婚を機に27 歳で漁船(8.5トン)を購入し、独立。漁業歴30 年以上のベテラン漁師だ。松本さんが漁を行う場 所は、同漁港から約20kmの沖合いに広がる、好漁 場として知られている天草灘。「マダコやシロサ バフグ、ヒラメ、モジャコ(ブリの稚魚)など、 四季折々に取れる旬の魚が相手です」と松本さん。 マダコはタコつぼ、シロサバフグはかご網、ヒラ メは刺し網など、とる魚によって漁法も変わる。 現在はタコつぼ漁がシーズン。約3,000個のタコ つぼを投入し、漁を行っている。

そんな松本さんは、天草漁協牛深総合支所・青 壮年部(会員35人)の部長を務めており、稚魚の 放流事業や牛深漁港に水揚げされている魚のPR を積極的に取り組んでいる。中でも、シロサバフ グの消費拡大を図ろうと、毎年12月に開かれてい る"牛深あかね市"で、この素材をいかしたから揚 げやみそ汁を販売。から揚げは白身でたんぱくな 味、ふんわりとした食感で「これを目当てにして 訪れるお客さんもいる」という。また、同部会の 会員にはフグの調理師免許の取得者がおり、今後 は加工済みのシロサバフグを地元の鮮魚店や飲食 店などにも提供することを検討しているそうだ。

「天草灘でとれる魚の味には、絶対の自信があ る。そして、豊かな海を次世代へつなぐためにも、 取り組みを続けていきたい」。松本さんの挑戦は これからも続く。



▲タコつぼを整理する松本さん

# 今月で「歳になります 選手を予用の金銭



松元暖翔くん 優翔くん 新和町小宮地 父・孝文さん 母・綾さん 5つ上のお兄ちゃんといつも仲よ く遊んでいます。



吉田龍生くん 御所浦町横浦 父・裕典さん 母・美鈴さん



福島 快音 くん 志柿町 父・透さん 母・愛弓さん



松川 丈一郎 くん 本渡町本戸馬場 父・晃文さん 母・松美さん



渡邉 裕心 くん 本渡町広瀬 父・淳広さん 母・街子さん

て 遊



久玉町 父・憲一さん 母・里香さん



鬼塚登得くん 父・俊行さん 母・恵子さん



小浦心平くん

() 父・祐一さん 母・かおるさん

### 皆さんからの投稿を募集しています! ●応募期限=8月12日 引まで(必着)。

#### 〈9月で満1歳になるお子さん〉

脇崎 悠仁 くん

父・悠太さん 母・理恵さん

●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふり がな)、生年月日、性別、電話番号、コメント (30字以内)、保護者名(父・母)を記入してく ださい。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に 写っているものをお願いします。また、写真の掲 載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、 応募写真は返却しません。

#### 〈読者のつぶやき〉

●応募方法=身近であったできごとや、季節に思い をはせることなど、150字程度をまとめたものに、 ペンネームと住所、氏名、電話番号を記入してく ださい(応募者多数の場合は選考)。

※表記などを統一するため、趣旨を変えずに文章を 直すことがあります。

※採用されたつぶやきは、この紙面に掲載します。

「郵送・持参先] 〒863-8631 市内東浜町8-1 (郵送の場合は住所記載不要) 天草市役所・秘書課

2013 . 8 . 1 | 16